

Q.5 21世紀の自分の地域や家族に伝えたいもの、または残したいものは何ですか。※紙面の都合上一部掲載します。ご了承ください。

〔生活環境〕

- ・自分で出すごみは、きちんと自分で始末する習慣 (30代女性)
- ・道路がきれいなまちを (40代女性)
- ・新津市は大河信濃川と阿賀野川の中心都市です。水の都と空気のおいしいまちを伝えたい (60代男性)
- ・やはり環境問題です。自分たちの間違った生活を知らなければならぬと思います。未来の子どもたちに美しい地球を残したいです。自分たちでできる小さな第一歩を踏み出したい (不明)
- 〔都市基盤・公園〕
- ・老人と子どもが一体となるような公園。公園——災害時の避難場所となる (40代男性)
- ・まち全体を公園のようにしたいのが夢です (40代女性)
- ・交通の中心都市であることを (60代男性)

〔自然・山・川〕

- ・美しい自然とそれを大切にしていこうとする心 新津は山や川があり、もっともっと美しく整えられるまちです。日本のスイスといわれるほどに (30代女性)
- ・自然や川、田畑が平穏であること (40代女性)
- ・秋葉山の自然環境を破壊しない (60代男性)
- ・木々に鳥が舞い、野原に草花が咲き、小川に魚が泳ぐ環境の復元 (70代男性)
- 〔花とみどり〕
- ・樹木、草花、森林 (10代、50代男性)
- ・緑のたくさんある街 (20代女性)
- ・どこにでも花があるまち (40代女性)
- ・新津川や小阿賀野川の緑地帯を整える。遊、観光名所として後世に残す。新津は市民の豊かな心がはぐくまれる (60代男性)

〔地域社会・人間形成〕

- ・温かいハート (10代女性)
- ・きずな、友誼のきずな、親子のきずな、先生と生徒のきずな、ふるさと市民のきずな、地域のきずながあれば、心はつながるし、社会がもっとよくなる。人間性に心を残したい (30代男性)
- ・自分の子どもには、目に見えない無形の財産を残してやりたい (40代男性)
- ・自分の地区がより住み良い、愛着の持てる地域になるように協力する (50代女性)
- ・隣近所が声を掛け合えて、互いに助け合える心を残していきたい (60代男性)
- 〔その他〕
- ・今も世界のどこかで戦っている人たちがいる——平和を永久に残していきたい (60代男性)
- ・先人たちが築き上げてきた時代 (70代男性)

〔保健・福祉〕

- ・障害者や高齢者に対して、やさしい町 (20代男性)
- ・子どもやお年寄り、障害を持った人たちが大切にされる生活しやすいまちを残したい (50代女性)
- ・高齢化社会の中で、これから高齢化がいかに地域に貢献したか、具体的な成果を残したい「よりよい高齢化社会の実現」 (70代男性)
- 〔文化〕
- ・鉄道文化財の保存 (30代男性)
- ・鉄道のまち新津を (30代女性)
- ・神楽舞 (50代男性)
- ・わらべ唄を残したい——お地蔵様はその地域のシンボルになるのでは (50代女性)
- ・新津弁、新津で生まれた文化人 (50代女性)
- ・天神様まつりや、さいの神など (60代女性)

お買物、ご用命は市内で

雨もり補修・屋根工事

技能士のいる店

(有)関口瓦工業

新津市草水町3丁目 TEL 22-0984

小さな恋人 さくらんぼ

おいしいさくらんぼの季節です。御贈答に甘〜い「佐藤錦」をどうぞ。地方発送承ります。

フルーツ
& ギフト

やまいし

本町2 (新光商店街)

TEL 23-0397
FAX 23-3158

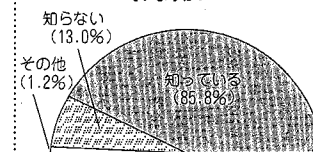


まちの姿を映し出して

＊——市民アンケート調査の結果②



グラフ1・市民大学があることを知っていますか。

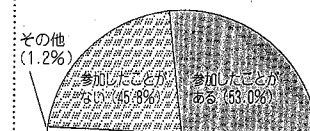


前号に引き続き、「市民アンケート調査」の結果をご紹介します。今回は市民大学や市が主催する講演会やシンポジウム、二十世紀の自分の地域や家族に残したいものについて、回答をまとめたものです。

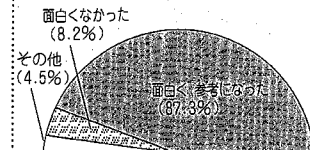
市民の間に着目
新津市民大学

グラフ1は、「市民大学があることを知っているかどうか」を尋ねたものです。これをみると、八五・八％の人が「知っている」と回答。開校して三年目の市民大学が、生涯学習を楽しむ学校」として、広く市民の間に定着していることがうかがえます。年代別でみると五十代以上で九〇％を超え、地区別では市街地中央部でいちばん高く、

グラフ2・市主催の講演会などに参加したことがありますか。



グラフ3・講演会やシンポジウムに参加してみようとしたか。



文化事業は面白く
実効があります

グラフ2は「市が主催する講演会・文化講演会や健康講演会など」やシンポジウム（鉄道文化シンポジウムやまちづくりシンポジウムなど）に参加したことがあるかどうかを尋ねたものです。「参加したことがある」と回答した人が五三・〇％と、半数以上を占めています。これを性別で見ると、男性の方が少し多くみられ、年代別では高齢層ほど参加する傾向にあります。また、地区別では小合地区が七一・四％を示しているいちばん高く、次に

九三・五％を示し、以下、市街地西部、市街地南部の順になっています。

一方「知らない」と回答した人は、二十代で五八・三％を示しています。

市街地西部、市街地東部が続いています。

一方、「参加したことがない」と回答した人は、二十歳未満で八三・三％となっています。

次にグラフ3は、講演会やシンポジウムに参加した人を対象に、「参加してみようと思ったかどうか」を尋ねたものです。八七・三％の人が「面白く、参加してみよう」と回答し、毎年開催される各種講演会やシンポジウムが、市民にとって実りのある文化事業になっていることが分かります。

これを性別で見ると、男性の方が少し多く、年代別では二十歳未満で八三・三％を超えています。また地区別では、阿賀・満日地区や新関地区で一〇〇％となり、以下、市街地南部、市街地東部の順になっています。

お買物、ご用命は市内で

“今売れている人気商品ご紹介”



ヘッピンロール 1* 1,000円

「ヘッピン」とは、シュー生地とクリームを合わせて焼いたクレープ状の皮で、生クリームと果を巻いた人気商品です。

＊新滞の週刊誌にも取り上げられました。



くリーむけーき 1* 600円

非常にソフトなフォンケーキにカスタードクリームを、たっぷり入れた人気商品です。

にいつ ぶさかや

本町2 ☎22-0112